豊島区環境基本計画(御要版) [霧]

表紙 調整中

豊島区環境基本計画について

●目的

豊島区環境基本計画は、区の環境保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画です。

●計画期間

2019 年度から 2030 年度まで

●目指すべき環境都市像

みんなが主役 文化とともに発展するエコシティ としま

●環境と文化の融合

国際アート・カルチャー都市**としての魅力や活力の創造と環境に配慮したまちづくりを同時に進めていくことで、環境と文化が互いを向上させ、豊かでうるおいがあり、魅力と活力にあふれる「みんなが主役 文化とともに発展するエコシティ としま」の実現へとつながっていきます。

※国際アート・カルチャー都市

伝統的な文化から先端的な文化まで、衣食住に関わる生活文化からハードな都市づくりまでをも含み、アートの持つ想像力・創造力で、まちを構成する多様な人々の参加と協働によりまちづくりを展開していくことで、世界中の人々を魅了し、持続発展する都市のことです。

環境

人と環境にやさしい まちづくりの推進

文化

豊島区に集う人々による多種多様な文化活動の推進

環境性能が高く アピールカのある まちづくりの進展

融合

魅力と活力にあふれる 価値ある まちづくりの進展

環境都市像 みんなが主役 文化とともに発展するエコシティ としま

●位置づけ

環境基本法

豊島区環境基本条例

上位計画

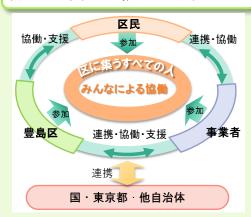
- 豊島区基本構想
- •豊島区基本計画
- ・未来戦略推進プラン

豊島区環境基本計画

- · 豊島区地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)
- •豊島区生物多様性地域戦略
- 豊島区環境教育等行動計画
- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- •生物多様性基本法
- ・環境教育等による環境保全 の取組の促進に関する法律
- •東京都環境基本条例

●推進主体

区民・事業者・区がそれぞれの役割 を果たすことに加え、各主体が連携・ 協働して取組みを推進します。また、 区に集うすべての人「みんな」との協 働による取組みを推進します。



●計画の特徴

1. 重点施策およびリーディングプロジェクトの新設

区が目指す環境都市像を実現するために、優先的に取り組むべき主要な施策(重点施策)、その中で優先的に取り組む事業(リーディングプロジェクト)を選定しました。

2. 持続可能な開発目標 (SDGs) と環境施策の関わりを明示

各分野の施策の方向が貢献すると想定される主な SDGs の目標を明示しました。

3. 計画の進行管理の強化

①計画の進行管理に係る全期間のPDCAと、②事業の進行管理に係る毎年度のPDCAを多層的に運用します。①については、計画期間の途中段階に中間見直しの機会を設け、計画の改善につなげます。

また、進捗管理の強化を図るため、成果指標、取組指標を設定し、進捗状況を管理していきます。

Ⅱ-2 みどりを保全・創出する

Ⅱ-3 人と自然のつながりを深めるまちをつくる

ルピンドマントエント		
基本目標I気候変動に対応し、脱炭素化に	けた取組みを	進めるまち
<包含する分野別計画> 豊島区地球温暖化対策	亍計画(区域施施	策編)
I-1 再生可能エネルギー・新エネルギーの普及を拡 する	· ──★ ②区	生可能エネルギー設備の導入支援 有施設における再生可能エネルギー設備の導入 生可能エネルギー・新エネルギー等に関する普及啓発
I-2 家庭における環境配慮行動を促進する		境配慮・省エネ対策への支援 境配慮・省エネ対策の普及啓発
I-3 事業所における環境配慮行動を促進する	②環	境配慮・省エネ対策への支援 境配慮・省エネ対策の普及啓発
I -4 区役所における環境配慮行動を促進する	- ②区 3環	員の意識・行動改革 有施設等の低炭素化 境配慮型事業活動の推進
I -5 低炭素なまちをつくる	2 自 3建	:共交通環境の整備・改善 転車交通環境の整備・運営 築物の環境配慮 :炭素まちづくりの推進
I -6 気候変動に適応するまちをつくる	①暑 ②災	熱環境対策 害等への備え
基本目標Ⅱ みどりや生きものの豊かさを育み、人と自然がつながるまち		
<包含する分野別計画> 豊島区生物多様性地域	各	
Ⅱ-1 生物多様性を保全する	* ②自	然環境や生物に関する調査・把握 然環境の保全と創出 物多様性保全のための学習・参加の場の提供 険な外来種の情報提供

基本目標皿 ごみを出さないくらしと資源の循環に協働して取り組むまち

①食品ロスの削減 ②リデュース・リユース施策の継続的な展開 ③ごみ減量についての効果的な周知 ④区民ひろば等の地域拠点の活用 Ⅲ-1 リデュース・リユースを推進する ⑤事業者との連携によるリデュース・リュースの推進 ⑥連携の場の創出とリーダー育成 ①わかりやすく効果の高い分別の検討 ②事業者の自主的取り組みとの協働 ③事業系ごみのリサイクルの促進 ④集団回収の積極的活用 Ⅲ-2 質の高いリサイクルを実現する ⑤新たなリサイクルの拡充 ①適正分別・適正排出の徹底 ②有害物質等の適正処理 ③事業者の民間収集移行促進 Ⅲ-3 安定的で適正なごみ処理を推進する ★ ⑤ ④災害廃棄物についての対策

①都市空間の緑化推進 ★⑤ ②公共空間のみどりの保全・再生・創出 ③身近なみどりの育成

①地域が参加するみどりのまちづくり

②地域の人に親しまれる環境の創出・保全

4緑のネットワーク化

基本目標Ⅳ すべての人が安全・安心・快適な環境の中でくらし活動できるまち

①公害対策 Ⅳ-1 健康・快適な環境を保全する ②化学物質の適正管理 ★ ①路上喫煙・ポイ捨て防止対策★ ⑤ ②清掃・美化活動の推進③害獣等による被害対策 Ⅳ-2 美しいまちづくりを推進する

連携・協働 持続可能な環境づくりのために行動する人の輪を広げるまち

<包含する分野別計画> 豊島区環境教育等行動計画 ★ \delta ①環境教育・環境学習の推進 連-1 環境教育を促進する ②環境情報の効果的な発信 ①環境活動を率いる人材育成 連-2 環境人材を育成し、活動の場を広げる ②環境活動の拡大 ①協働による環境活動の推進 ②事業者・行政の連携強化 ③行政間連携による環境配慮 連-3 連携・協働の仕組みをつくる

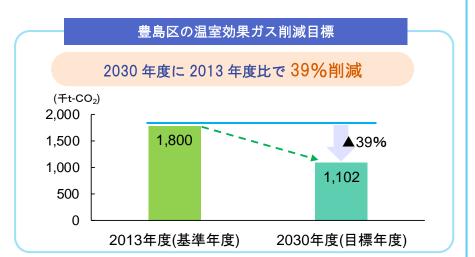
基本目標I

気候変動に対応し、脱炭素化に向けた取組みを進めるまち(豊島区地球温暖化対策実行計画(区域施策編))

●温室効果ガス削減目標

気候変動への具体的な取組みが世界 や国において進められている中、豊島 区においても対策を強化していく必要 があります。

区では、国の「地球温暖化対策計画」の取組みに加え、本計画で定める施策を進めることで、温室効果ガス排出量の削減を図っていきます。



●重点施策

①再生可能エネルギー設備の導入支援

住宅に設置される太陽光発電システムや、太陽熱温水器等の再生可能エネルギー機器の設置費用を助成し、導入を支援します。



②区有施設における再生可能エネルギー設備 の導入

新築、改築、改修を行う学校や公共施設への太陽光 発電システム等の再生可能エネルギーの導入を進め ます。また、施設の特性・設置条件に合わせた最適な 再生可能エネルギーの導入を検討します。

③低炭素まちづくりの推進

鉄道駅周辺など、商業・業務などの都市機能が集積 しエネルギーを多く消費する場所において、都市開発 の機会を捉えて、地域冷暖房やコージェネレーション システムの導入、未利用エネルギーの活用などを含 め、複数の建物間での面的なエネルギー利用を促進し ます。

●指標

成果指標	現状値(2017 年度)	目標値(2030 年度)
区内の温室効果ガス排出量(千 t-CO ₂)	1,646(2015 年度)	1,102
区内の太陽光発電設置容量 (kW)	5,692	12,311
区内の太陽光発電設置件数(件)	1,246	2,695
豊島区役所の CO ₂ 排出量(事務事業)(t-CO ₂)	15,787	10,187

●リーディングプロジェクト

「としま低炭素モデル地区基準」の設定による低炭素まちづくりの推進

【概要】新たに低炭素モデル地区基準を設定し、区内事業者に対して推進していきます。 この取組みにより、先進的な環境性能を誇る建築物やエネルギーシステムを区内に集結させ、複数建物 間のエネルギーをつなぎ、地域全体のエネルギー利用の最適化を目指します。

◆としま低炭素モデル地区基準(予定) I を満たし、 I を 2 つ以上満たすもの

基準	要件
【環境性能(省エネルギー性能評価)	非住宅:東京都建築物環境計画書制度 段階 3 住 宅:省エネルギー対策 等級 4
┃ Ⅱ エネルギーの面的利用	・地域冷暖房 ・コージェネレーションシステム ・再生可能エネルギー











基本目標Ⅱ

みどりや生きものの豊かさを育み、人と自然がつながるまち (豊島区生物多様性地域戦略)

●重点施策

①自然環境の保全と創出

多くの昆虫や鳥類が生息できる植栽樹種の選定など、生態系に配慮した公園の整備に取り組みます。また、改築などにあたっては、小学校敷地に水辺や木、草地などのビオトープを整備します。これらの取組みによって、みどりと水のネットワークの形成を進め、生きものの生息空間を保全します。





②公共空間のみどりの保全・再生・創出

学校に土地本来の森を再生する「学校の森」の維持管理をはじめ、屋上緑化・壁面緑化など、みどり豊かな学校環境の整備に取り組みます。また、公共施設の緑化を推進します。



③地域が参加するみどりのまちづくり

「グリーンとしま」再生プロジェクトなどの地域と協働してみどりを創出する取組みを継続するとともに、創出したみどり空間を、区民や地域とともに維持管理していきます。

また、豊島区が発祥の地であるソメイヨシノを豊島区の大切なブランドとして活用していきます。

みどりのボランティアへの支援、区民ひろばが中心となった緑化活動や、区民ひろばまつりなど、地域での様々な緑化活動によって、みどりのまちづくりを促進していきます。



●指標

成果指標	現状値(2017 年度)	目標値(2030 年度)
生きもの調査に参加する区民の数(累計)	283	1,258
禄被率(%)#	12.9 (2015 年度)	13.0 (2020 年度)
緑視率が 25%以上の箇所の割合(%) 🐈	16.8 (2015 年度)	(増加)
みどりのボランティア団体数(累計)	26	26
※「みどりの協定」により公園内の花壇等を管理		20

#:「豊島区みどりの基本計画」(2016 年 3 月) により、現状値(2015 年度)、目標値(2020 年度) を記載。目標値は、同計画 の改定(2021 年度予定) 以降に見直す。

●リーディングプロジェクト

緑やビオトープの維持管理

●維持管理の改善

- ・区有施設に整備したビオトープの管理状況について、専門家に よる調査を実施し、今後の維持管理の改善につなげていきます。
- ·「いのちの森」「学校の森」などの樹木についても、専門家による調査結果を参考に、緑の保全を考慮した管理を行います。

●連携によるみどりのなどの保全

区民や地域との連携による区有施設(公園・学校など)の樹木やビオトープの維持管理を推進するとともに、協働による維持管理体制の構築を検討していきます。



(仮称) 造幣局地区防災公園の整備 (2020 年春オープン予定)

防災機能をベースとしているものの、 区最大の面積を活かし、地球温暖化対策 など、環境に配慮した緑地空間を目指し ています。



主に関連する SDGs の目標







基本目標Ⅲ

ごみを出さないくらしと資源の循環に協働して取り組むまち

●重点施策

①食品ロスの削減

家庭からの食品ロス削減の取組みを促すための普及啓発講座を実施します。

②事業者の民間収集移行促進

事業活動に伴って排出される事業系廃棄物の民間収集移行を促進します。

③災害廃棄物についての対策

災害により生じた廃棄物を円滑かつ迅速に処理するため、東京都や近隣自治体、事 業者等と協定の締結などにより連携を図りながら、処理体制の構築を進めていきます。

成果指標	現状値(2017年度)	目標値(2030年度)
一人一日あたり区収集ごみ量(g/人日)	541	520
資源化率(%)	19.9	22.8
事業系ごみ(持込ごみ [※])の排出量(t)	43,841	28,384

※持込ごみ:承認を受けた事業者などが清掃工場に直接持ち込んだごみのこと

食品ロス削減対策事業

【概要】民間事業者とのさらなる連携により、地域 全体での食品ロス削減対策を促進していきます。 協力店の創設やフードドライブを行います。

主に関連する











基本目標Ⅳ

すべての人が安全・安心・快適な環境の中でくらし活動できるまち

①化学物質の適正管理

光化学オキシダントや PM2.5 (微小粒子状物質) の発生抑制のため、工場等への立ち入り指導を通じ て VOC 排出削減を推進します。

②路上喫煙・ポイ捨て防止対策

通行人に路上喫煙・ポイ捨て防止を呼びかけるキ ャンペーンの実施、路上喫煙・ポイ捨てに対して直 接指導するパトロールの実施、指定喫煙所の設置に よる路上分煙の徹底などに取り組みます。

③清掃・美化活動の推進

としまがいちばんきれ いになる日「ごみゼロデ 一」の実施、自主的な環境 美化活動を実践する企 業・団体等の「としまクリ ーンサポーター」として の登録促進などに取り組 みます。



成果指標	現状値(2017 年度)	目標値(2030 年度)
大気汚染物質の環境基準達成状況(%)	80	100
路上喫煙率(%)	0.07	0.03
ごみゼロデー参加人数(人/年)	15,452	16,000
「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」について、肯定的な回答をする区民の割合(%)	30.4	35.0

リーディングプロジェクト

烙上喫煙・ポイ捨て防止対策の充実

【概要】多言語による路上喫煙・ポイ捨て防止対策を行うことで、ルー ルの周知を進めます。多言語音声翻訳機の活用により、双方向コミュニ ケーションを図った丁寧な指導を行います。また、ルールを共有できる よう、路上啓発表示や看板の多言語対応を図ります。

主に関連する SDGs の目標









連携・協働

持続可能な環境づくりのために行動する人の輪を広げるまち (豊島区環境教育等行動計画)

●重点施策

①環境教育・環境学習の推進

区立の小中学校における環境教育を、「としまふるさと学習プログラム」の一環として位置づけ、地域の自然環境などを含め、歴史や文化など、郷土への愛着を育むプログラムとして展開していきます。

また、「豊島の森」を活用した環境講座など、区民に対して環境に関する様々なテーマについて学習できる機会を提供します。



③事業者・行政の連携強化

まちの再開発などの機会を 捉えて事業者の積極的な関与 による低炭素化を目指してい きます。また、「としまエコライ フフェア」をはじめとする区民 に向けた環境イベントについ て、事業者と連携した実施も図 っていきます。

②環境活動を率いる人材育成

様々な環境分野においてリ

ーダーとして地域で活動でき

る人材を育成していきます。

〈エコスクール化〉

改築中の巣鴨北中学校は、環境負荷の低減や自然との共生に配慮した学校施設として整備し、生徒たちの環境教育の場となることを目指します(2019年8月下旬開校予定)。



●指標

成果指標	現状値(2017 年度)	目標値(2030 年度)
みんなで(地域や事業者等と連携して)環境保全に取り組んでいる、または取り組みたいと考える区民の割合(%)	_	66.8

※2019 年度に現状値調査予定

●リーディングプロジェクト

(仮称)クリーンサポーター・リーダー制度

【概要】自主的な環境美化活動を実践する「としまクリーンサポーター」を発展させ、リーダー制度を創設することで、地域清掃のリーダーとして活動していただくことを目指します。区内の異なる主体間の連携による環境活動を活性化し、環境づくりのための行動の輪を広げていきます。

自治体間交流 / 自治体間連携によるカーボン・オフセット事業の展開

豊島区では、防災、文化、教育などの様々な面から、自治体間交流を実施しており、環境面においても 区民への自然体験の機会を提供し、住民間の連携を促進しています。

〈自治体間交流事業の例〉

●様々な地域との共生〜豊島区・秩父市版生涯 活躍のまちづくり〜

移住·交流促進事業の推進により、豊島区·秩 父市が共に発展していくモデルを構築してい ます。その一環として 2018 年には、農業体験 型農園にて、地元の方とともに、参加者が共同 で作物を栽培しました。

●観光交流

茨城県常陸大宮市、栃木県那珂川町など

●教育連携

長野県立科町、秋田県能代市など

〈自治体間連携によるカーボン・オフセット事業〉



2019 年度から、秩父市との連携によるカー業をの連携によるカー業をです。区が予定です。区が活用を整備する森林を活用し、整体がは、区民への環境を実施し、区民への環境を実施し、区民への環境を実施し、区民への環境を実施します。

~自治体間連携によるカーボン・オフセット~

都市部の住民などによる日常生活や事業活動に伴う温室効果ガスの一部を、森林を多く有する自治体との連携による森林整備を行うことで温室効果ガスの排出削減・吸収価値を創出し、埋め合わせすること。













COOL CHOICE チェック!

クール・チョイス(賢い選択)ができていますか? 日頃の小さな選択が、未来を大きく変えていきます。できることから始めてみましょう!

調整中